



水なし印刷の日本WPAでの CFPの取組

13.07.23

一般社団法人日本WPA
事務局・五百旗頭 忠男

一般社団法人日本WPA

- 2002.06.01 米国のWPA翼下の水なし印刷推進の団体として発足
- 2010.10.01 一般社団法人に改組
- 最盛期は会員数は200社に達したが、現在は160社
- 環境貢献を目指す印刷方式の確立を目指し、CFPコミュニケーションプログラムに参加
- 水なし印刷PCRの認定、シリーズ製品の適用→グループでのシステム認証

水なし印刷PCRの認定

印刷PCR	水なし印刷PCR
手計算	PGGでの自動に近い計算
厳格で複雑な計算法(算出負荷大)	10項目に集約(算出負荷を軽減)
中間財	消費財
個別案件の検証期間は3週間以上	シリーズ製品化した定番品は直ぐに使える
検証費用がかかる	シリーズ製品参加者は登録料だけの支払いで済む

水なし印刷PCRの認定

バタフライCO2ロゴ	水なし印刷CFP
	
1トン・1500円	シリーズ製品参加者は登録料だけで済む
PGGで10項目計算	シリーズ製品共通値を表示(その都度の計算不要)

シリーズ製品とは

製品の厚みをパラメータとする例：平版印刷用PS版の厚みの違い

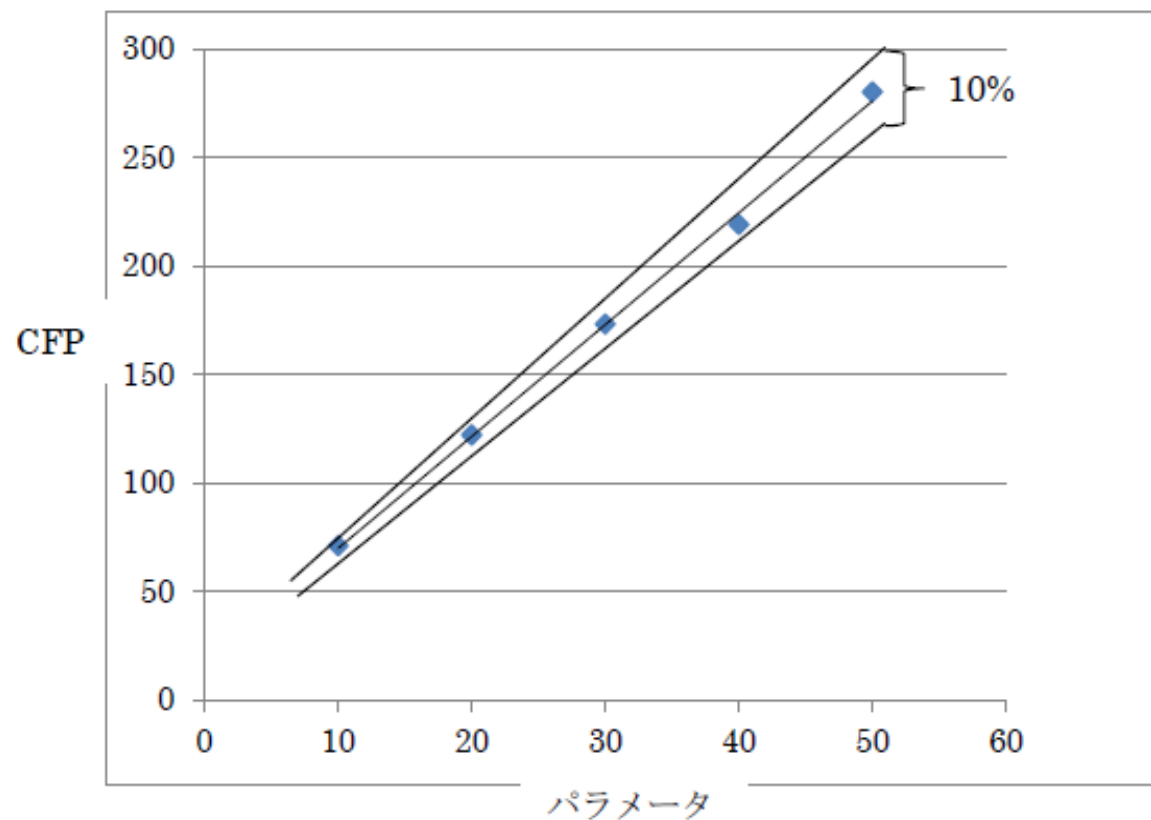
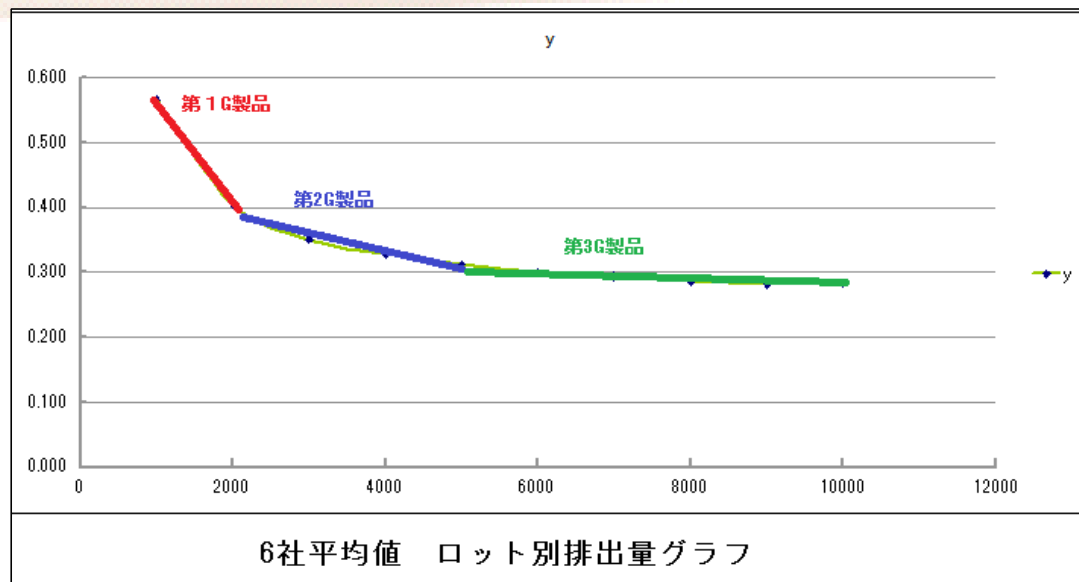
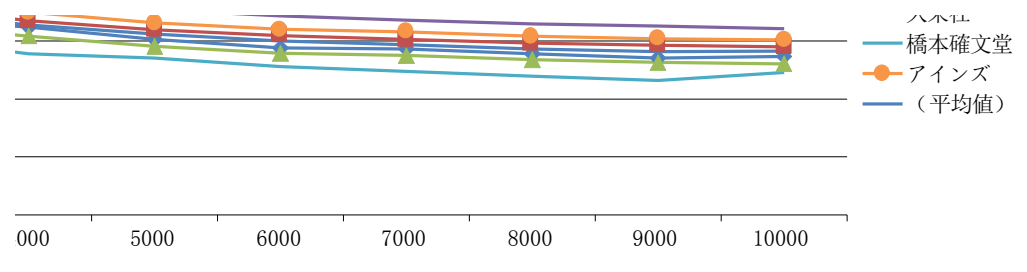


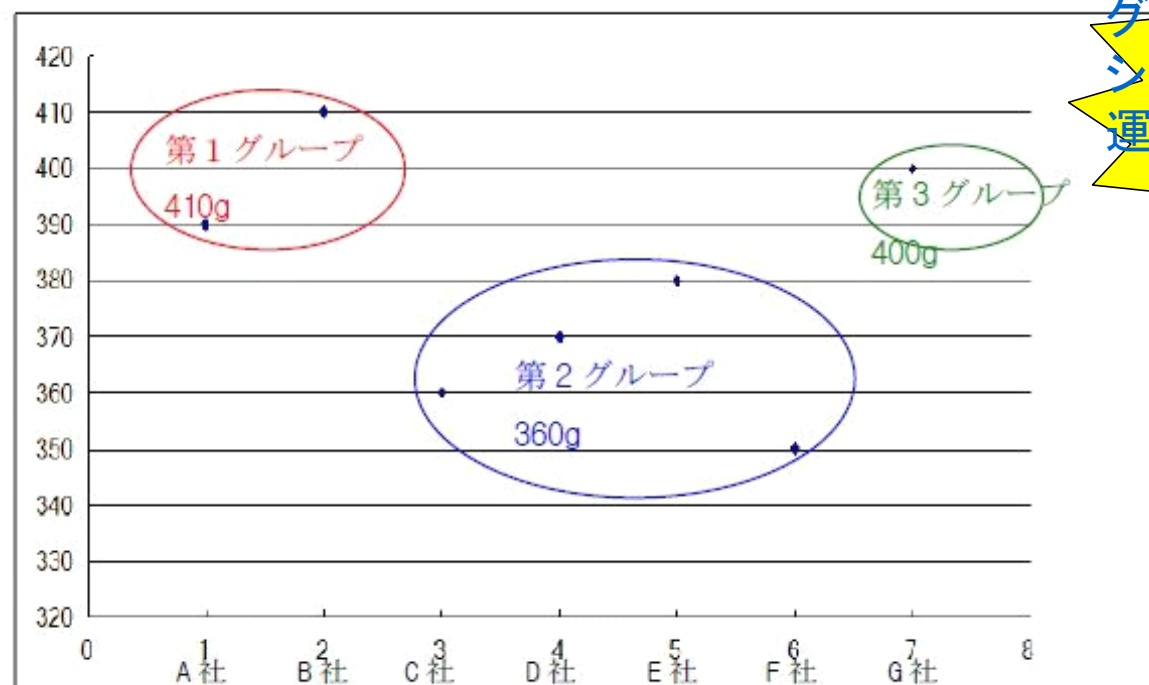
図1 シリーズ製品タイプA のイメージ



グループによる
シリーズ製品の
運用の限界



7社による特定印刷物「A4・16ページ 折・2000部」のシリーズ製品の検証

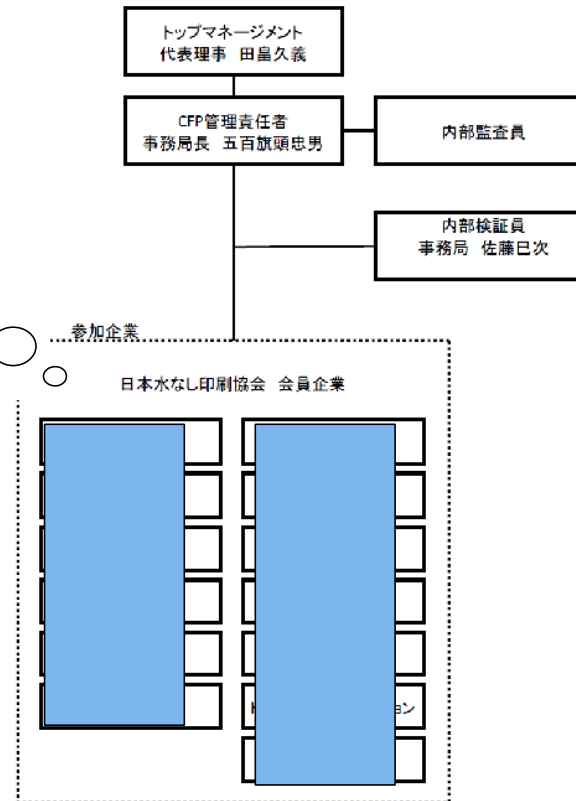


グループによる
シリーズ製品の
運用の限界

グループでのシステム認証

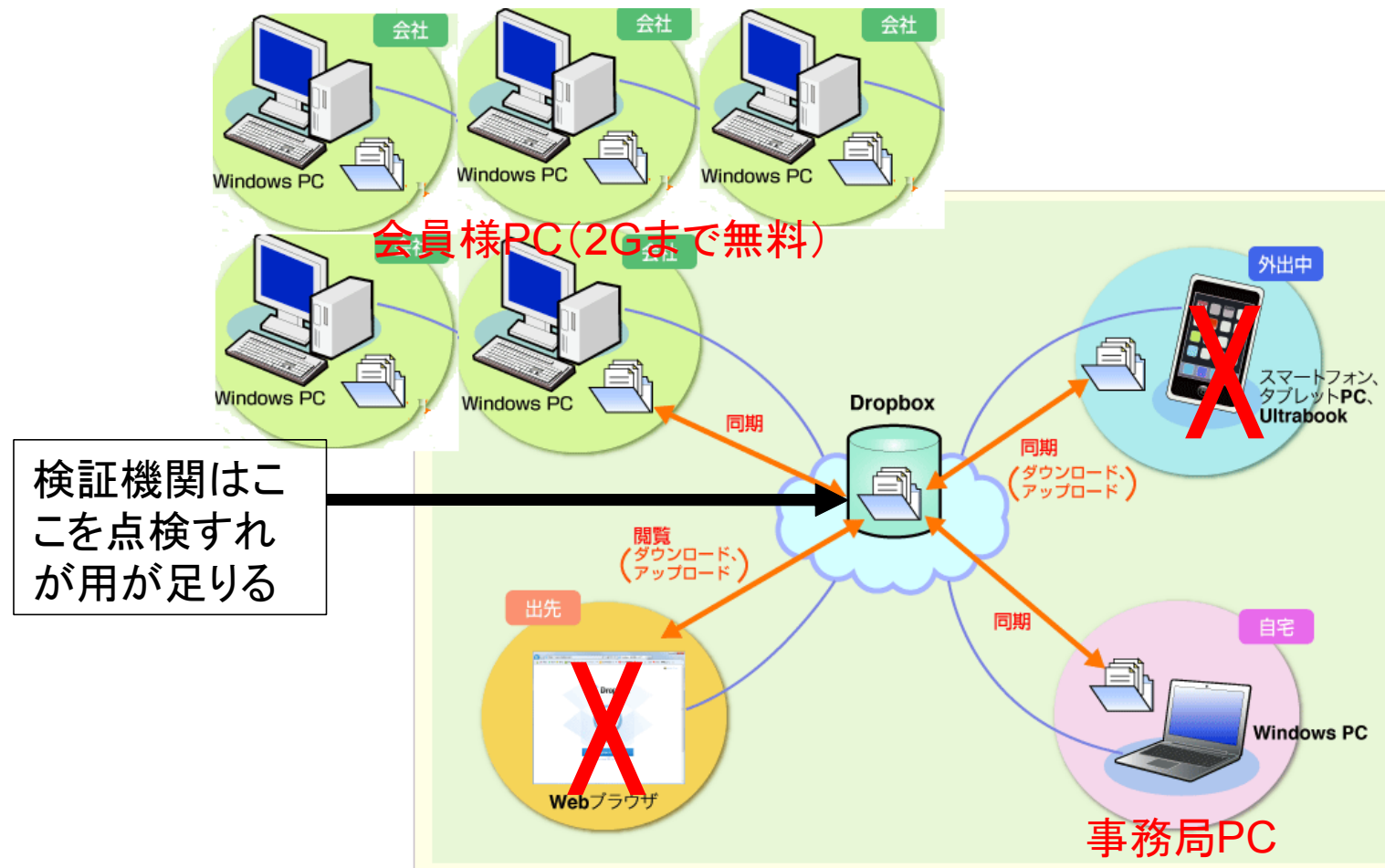
- PGG-Cloudを使用
- 水なし印刷PCR
- 算定・申請・検証のデータ、保存書類は専用サーバー(dropbox)に保存

CFP実施体制図

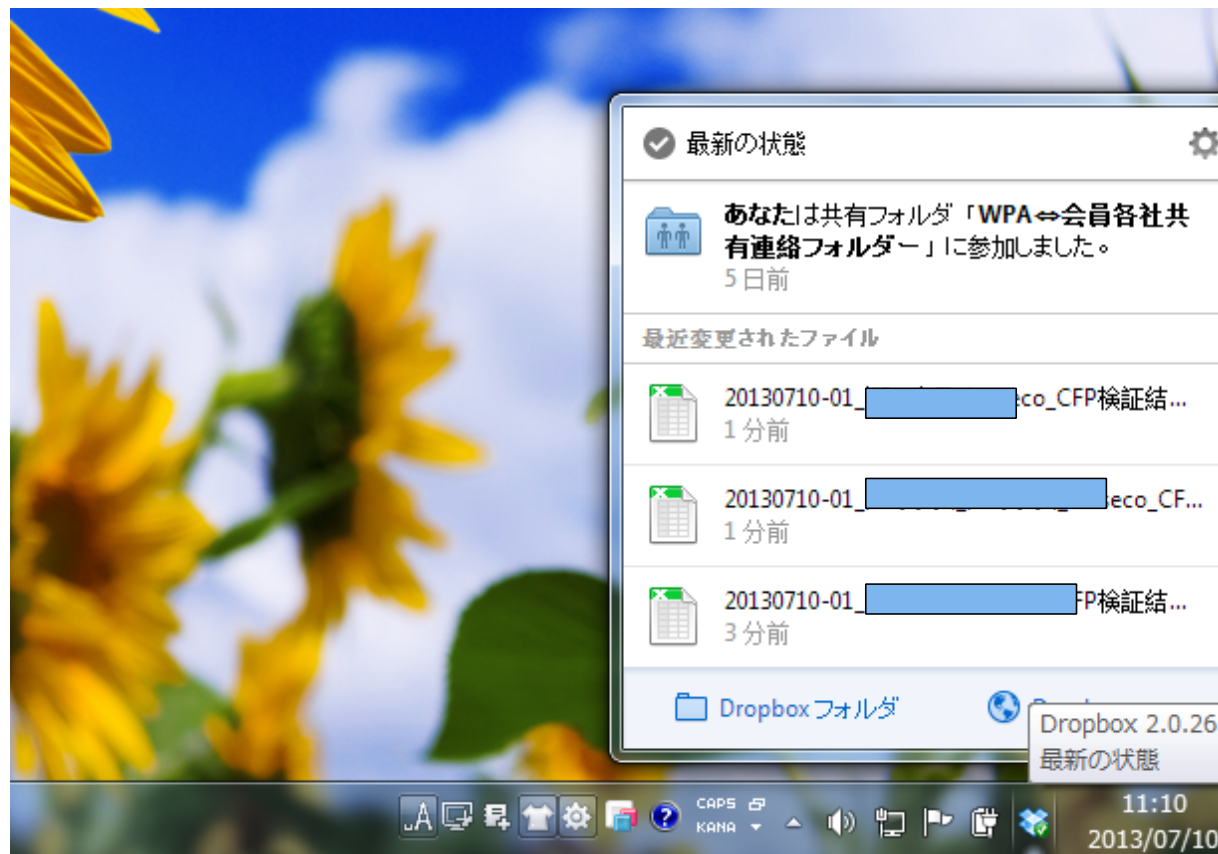


プラットフォーム①
グリーンキャピタリズム: 脱地球温暖化=日々の企業活動
プラットフォーム②
公官庁の発注印刷物にCFPロゴを付ける運動展開

dropboxの効果的利用



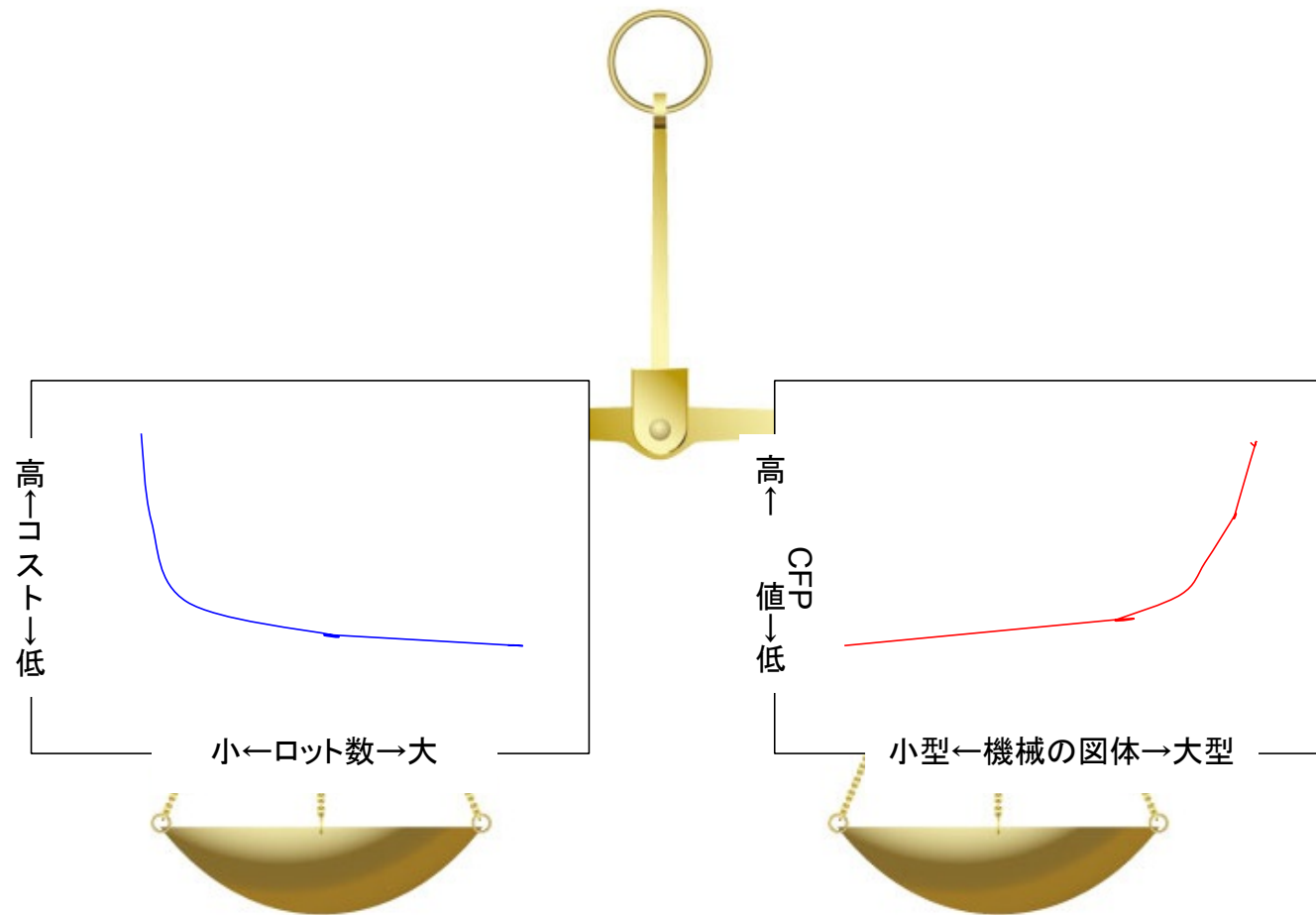
会員各社が無料dropboxに加入
事務局2箇所は有料大容量dropboxに加入
了解の取れたPC同士は共有が取れる



CFP実施計画書

- ほとんどの会社が自社印刷物でCFP申請
- E社は定期刊行物クライアントにカーボンオフセットを売り込み→CFP申請に変える
- CFPを活かしてどのように販促につなげるのか？

「ロット・コスト」と「機械図体・CFP値」 の相関調べ





ご清聴、有難うございました

